

令和元年度 第4回市立小諸図書館協議会 議事録

日時 令和元年12月13日(金) 午後1時30分～午後3時00分

場所 交流センター会議室4

出席者

〈 委員 〉

関口留美子副会長 畑明美委員 小宮山勝彦委員 蓬田美智子委員 加部美和子委員

〈 小諸市教育委員会 〉

安藤貴正文化財・生涯学習課長 鈴木一枝文化財・生涯学習課係長 土屋千浩文化財・生涯学習課主事

〈 市立小諸図書館 〉

土屋裕一館長 運営一部業務受託者特定非営利活動法人本途人舎業務責任者大林晃美

1. 開会

2. あいさつ

関口副会長あいさつ

先日の新聞に掲載されていた記事に、今まで勤めていた仕事を退職した男性が、図書館通いが日課になっているが、その先を考えないといけない、と書かれていた。どういうことかという、これから先年を取って、図書館に通いつづけるためには筋力が必要、少しずつ回数が減っていくだろう、そんな中、女性と男性の利用には違いがある。男性は自分の好きな本を自分の世界にこもって自分だけで楽しんでいるだけ、コミュニケーションをとろうとしないが、女性は、コミュニケーションをとって複数人で楽しむことが多い、ということ。考えさせられた記事だった。

安藤文化財・生涯学習課長あいさつ

3. 協議事項(議事進行 関口副会長)

(1) 第4次子ども読書活動推進計画(案)について(大林説明)

現在パブリックコメント実施中

変更点の確認

- ・「家庭」を推進主体から「子ども」と同じ対象としたこと
- ・第3次計画では「小学校、中学校、高等学校、養護学校の取り組み」とひとつの推進主体だったものを、発達段階にあわせて「小学校」「中学校・高等学校」「養護学校」とに分けたこと

- ・「小学校の取り組み」は、「学校図書館司書」
- ・「市立小諸図書館の取り組み」の中で、行政とは共に推進していく主体として、支援する対象ではなく、連携するものなので「行政との連携」とすること

- 発達段階に合わせた推進主体にしたのは、良いと思う。
- 「行政との連携」も、その通りだと思う。
- 公立図書館には学校図書館の職員に向けての支援もお願いしたい。
- 学校図書館の司書だけでは、どうにもならないことが多い。「学校」として取り組んでもらうことが必要。

⇒市内の横の連携の壁がある。計画推進の主体の中心である教育委員会から、横の連携の強化を図り、計画を主体的に捉え、先導していかなければならないと思っている。

- パブリックコメントは、どのようにまとめて、どのように応えていくのか？

⇒出された意見は、検討して反映が必要だと判断されれば計画を修正する。出された意見に対してひとりひとりに返答するのではなく、提出意見とそれに対する返答をまとめて公開する。

- 子どもに本を読む姿勢としては、楽しい時間を共有したいという思いで日々活動している。それが、子どもが本を好きになるきっかけになる、と思う。この計画は「教育委員会」が責任をもって進めていく、ということ。この中に書かれている活動に似たような活動を公民館活動の中や民生児童委員の人もやっている。連携の中でできるようになるといいのではないか。

⇒計画の課題として「連携」のための会議を、どのように持つか、図書館が中心になって考え実行していくことになっている。会議の形についてもワークショップ形式で自由参加の会議がいいのか、いろいろな形があるので、効果的な方法を考えて、「連携」を形にしていきたいと思っている。

(2) 利用者アンケート回答から【資料：自由記述意見部分】

11月1日から一か月間、利用者にアンケートをお願いした。目標を200人にしたが、イベント等も多く、積極的に呼びかけたこともあり、366人から回答をいただいた。次年度も同じ日程で、11月にアンケート実施、1月に報告を兼ねた市民懇談会を開催しようと思う。

資料を見ていただくと分かる通り、さまざまなご意見をいただいている。これから意見を分類して、ひとつひとつに回答を書き込んでいく。すぐにでも実現できるもの、できないものがあり、図書館としても考え方や方針を知っていただくいい機会だと捉えている。1月27日の市民懇談会では、アンケートの数値的な結果やこの自由記述意見に対する回答を示し、市民の皆さんと意見交換をしてよりよい運営につなげていきたいと考えている。アンケート結果は、館内にも掲示する。委員の皆さんもぜひ、懇談会に参加をお願いしたい。

(3) 第5回協議会の視察研修場所について

場所について検討したが、意外と県内の図書館がどのように運営しているか等、知らないことが多いので、長野県内の図書館事情を知る、という目的で、今回は北信の3館を視察したいと考えている。特に県立長野図書館は、なかなか行く機会がないと行かないので、自分たちの県の図書館のことを知るいい機会にしたい。

(4) 図書館の運営についての意見交換 【資料：利用統計】

毎年落ち込む11月だが、今年度はわずかではあるが落ち込むことなく利用増となっている。特に学習室の利用が増えている。会議室の利用がないときは開放して使用してもらっているが、そこもいっぱいになる。需要があるのだと感じる。なるべく、応えたいとは思って対応してもらっている。

課題もあり、ゴミの持ち帰りをお願いしているが、どうしてもマナーが悪く困っている。アンケートの自由記述にも寄せられているが、学生がうるさい、と。学習室でも中学生は私語が多い、という意見をいただいている。図書館内もそうだが、公共施設としてどのように注意し、お互いが少しずつ譲歩しながら利用するためにはどうしたらよいか、考えたい。

●開館時間の短縮の検討は？近隣の図書館と比較しても、小諸図書館が一番長く開館している。開館時間も近隣は9:30とか10:00。30分延長していると経費はどうか？アンケートでは「遅くまで開いていてよかった」という意見もあったというが、なんでも利用者の要望を聞いて便利にする必要はない。トイレのハンドドライヤー（アンケート意見）にしても、ハンカチを持って来れば済む話。開館時間にしても考えてみるべきではないか？

⇒条例改正が必要になり、条例改正には時間がかかる。すぐにできることではない。ひきつづき検討していく。

●マスコミへのアピールも必要。新聞はみなさんよく見ている。効果がある。有効に使っていくべき。

4. その他

1) 次年度の協議会委員について

2) 「パブリックコメントに意見を書こう」イベントについて案内

【次回の予定】

令和2年3月5日（木）視察研修

詳細は後日お知らせ

5. 閉会